学校だより

ドリーム

創立 25 周年記念特別号

加古川市立別府西小学校
令和8年10月30日 No.11

「みんなで祝おう25周年！にこにこ別府西フェスティバル」

9月 29 日(火) 創立 25 周年記念イベント 「校歌に親しもう」

別府西小学校校歌の作曲をしていただいた多田佳世子様とピアノ演奏のダンテ・マッツォーラご夫妻をお招きし、開催されました。

イタリアのオペラ歌手として活躍されている多田さんのイタリアとスペインの歌 3 曲を披露していただきました。美しい歌声は会場いっぱいに響き渡り、圧倒されました。そして、日本の歌「赤とんぼ」を披露していただき、「もみじ」は4～6 年生も一緒に歌いました。最後に校歌の歌詞には「夢と希望をもって幸せに歩んでいけるように仲間と助け合って生活してほしいという願いが込められていることを教えていただき、全校生で校歌を歌いました。

アンコールに答えていただき、多田さんのピアノ伴奏とダンテさんの指揮で校歌をもう一度歌いました。



体育館に響き渡る歌声、小さい声でも振動で伝わってきました。



4～6 年生がもみじを歌いました。素敵な声を聞いた後だったので、高音の歌声がとても美しく響いていました。



全校生で校歌を歌いました。校歌に込められた願いを教えていただいた後だったので夢・希望・幸せの言葉を大切に歌えました。



児童代表が感謝のあいさつをし、花束をお渡ししました。



アンコールではダンテ・マッツォーラさんが指揮をされ、多田さんのピアノに合わせて校歌をもう一度歌いました。全校生の心のこもった歌声が体育館に響き渡りました。



会場を後にされるときには大きな拍手で感謝の気持ちを表しました。



加古川

別府西小の創立25周年で記念事業

校歌作曲者と共に斉唱

別府西小創立25周年事業で歌声を披露するオペラ歌手の多田佳世子さん（右）＝加古川市別府町新野辺

創立25周年事業として、別府西小学校（加古川市別府町新野辺）で9月29日、校歌を作曲したオペラ歌手多田佳世子さんを招いたイベントがあった。全校児童446人らが多田さんの歌声に耳を傾け、一緒に校歌を歌った。

同校は別府小から分かれて2002年に開校した。多田さんは別府町で育ち、大阪音大を卒業後にイタリアへ渡り、各国のオペラ劇場で主役を演じてきた。現在もイタリア・ミラノを拠点に演奏を続けながら、後進の育成に励む。

多田さんは、夫でミラノ・スカラ座の副指揮者を務めたダンテ・マッツォーラさんのピアノ伴奏で「オー・ソレ・ミオ」などを熱唱し、児童と一緒に唱歌「もみじ」を歌った。校歌について「『共に歩まん』の部分は自分も周りの子も大切に、思いやりの心を持って歌ってもらえるとうれしい」と話した。アンコールでは多田さんがピアノを弾き、児童が校歌を歌った。

6年酒井瑠依さん(12)は「ほぼ毎日歌う校歌を作ってくださった多田さんに会えて光栄。大切に歌い継いでいきたい」と述べた。

10月2日には、音楽ユニット「ヤエモリ」を招いたコンサートもある。（中川　恵）

神戸新聞　10月2日(金)掲載

児童の感想より

多田さんの歌声がとてもきれいで魅力的でした。歌の歌詞がわからなくても多田さんの歌声で雰囲気がわかり、どういう歌なのか感じ取れました。そして、一緒に全校生で歌った校歌は素敵な言葉ばかりで、中学生、高校生、大人になっても絶対に忘れません。多田さんの歌声がもっとたくさんの人に届くことを応援しています。これからもお体に気を付けてがんばってください。

とてもきれいな歌声とすてきな音色のピアノで耳が心地よくなりました。私はピアノを習っているのでダンテ先生のピアノを聴いて、難しい曲なのにとてもきれいな音色とミスのない演奏がすごいなと思いました。

ぼくは別府西小学校の校歌をとても気に入っています。その気にいっている校歌を作った多田さんに会えて本当にうれしかったです。そして、多田さんの歌声はきれいで響いていました。これからはこの大切な思い出を悲しいときや苦しいときに思い出して、元気をもらおうと思いました。今日は本当にありがとうございました。

10月2日(金) 創立25周年記念イベント 「ヤエモリコンサート」

加古川市出身の音楽ユニット「ヤエモリ」の御二方と映像担当の早川氏によるコンサートが開催されました。最初にヤエモリコンサートで素敵な歌声を聴かせてもらいました。その後、音楽の時間に練習した曲をはじめ、普段からなじみのある5曲を歌って踊ってと楽しみました。最後に、別府西小学校のいいところを各学年代表者に発表してもらいながら思い出ムービーを鑑賞し、全校生で別府西小学校25歳のお誕生日をお祝いしました。



児童会中心に素敵なお祝いの掲示物を作ってくれました。



最初は、ヤエモリコンサートで代表曲を聴かせてもらいました。
給食の時間にもかかっています。



映像の中のキャラクターと一緒に拍手をみんなで合わせ、盛り上がりました。



みんなが大好きな曲「WA になっておどろう」をノリノリで歌いました。



全校生とヤエモリさんで「この広い大地の中で」を歌いました。



代表の人が別府西小学校のいいところや頑張っていることを発表してくれました。



50 周年に向けて今日感じた「絆」を大切にして、みんなで笑顔あふれる学校を作っていきます。と児童代表お礼の言葉を伝えました。



最後にみんなが大好きな校歌を心を込めて歌いました。

保護者の皆様　地域の皆様へ

別府西小学校は皆様のお力添えをいただきながら、2002年10月1日に創立され、今年で25周年を迎えることができました。創立にあたり、幾度となく「新設小学校検討委員会」が設けられ、「夢のあるユニークな加古川を代表する新たな学校づくり」を心がけ、また、現代の子どもたちを取り巻く環境を考察したうえで「子どもたちに必要な教育」という観点より創立された学校です。

創立より四半世紀を迎えるにあたり、現在の別府西小学校で学んでいる児童に、今まで自分たちを支えてくださっている方々の思いを伝え、自分たちの学校のことを知り、学び舎を愛し、大切にしていこうという気持ちを育むために創立25周年イベントを子どもたちと共に実施しました。

「みんなで祝おう25周年！にこにこ別府西フェスティバル」

というテーマを決め、9月29日（火）の「校歌に親しもう」のイベントでは校歌の作曲者である多田佳世子さんとピアノ奏者のダンテ・マッツォ～ラ（ミラノ・スカラ座の副指揮者を務められた方です）をお迎えし、校歌に込められた思いを教えていただくことができました。そしてゲストの多田佳代子（ただかよこ）さんとダンテさんが、子どもたちの歌声を聴いて大変感動されていました。お二人が一番感動されたのは、「子どもたちが素直に歌うことを楽しんでいる姿」です。「これからもずっと忘れずにいてほしい」とおっしゃっていました。

さらに、10月2日の「ヤエモリコンサート」を終えた後にも、お二人は「児童の皆さんと一緒に歌えて、本当に楽しかった。そして、皆さんと一緒に別府西小学校の25歳のお誕生日をお祝いできて本当に嬉しかった」と話されていました。

二組のプロの歌い手さんに別府西小学校の子どもたちをほめていただいたことを、誇りに思います。この一連のお話から子どもたちにはプロの歌い手さんを逆に感動させてしまうほどの大きな力があるということがわかりました。これからも子どもたちの素直な心と笑顔を大切に教職員一同、力を合わせて学校づくりをしていきたいと思います。

今後ともこれまで同様に、ご支援ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

加古川市立別府西小学校
校　長　田 村 千 恵



令和８年10月２日撮影